

と硬さのパラッキとの関係など、鉄鋼材料の強さに関する研究を、金属材料技術研究所に出向直後非破壊試験の定量化に関する研究を行なった。昭和37年よりクリープ試験室に移り、長時間クリープ試験に関する予備試験を開始した。昭和40年からは新設された材料試験所に移り、試験機1100台、試験片数約3000本を有するクリープ関係施設の立案および建設に従事した。

これには、クリープ試験技術研究組合の成果や諸外国の実情を参考にして、世界においても最大の規模を有する近代的なクリープ試験室の設計に独創的な方式を採用した。現在高温用鉄鋼材料32鋼種、約240溶鋼について、10万時間を目標としたクリープデータシートを求めるための同研究所のクリープ試験推進の中心的役割を果たしている。

一方、予備試験で求めた約3万時間までのクリープデ

ータを用いて、長時間クリープデータを統計的手法によつて整理解析し、評価し、表示するための研究を行なった。すなわち、応力と破断時間など、クリープにおける主要な諸関係に対し、最良回帰方程式を選定する方法を明らかにするとともに、回帰におけるあてはめのよさは必ずしも外種推定値の精度のよさを意味しないことを立証し、さらに長時間クリープ破断寿命の分布のかたよりの要因を具体的に指摘した。また、クリープ特性と硬さや組織および製造履歴などとの関係を求め、問題点を提起するとともに、長時間クリープ特性に及ぼす主なる要因を解明するように努力している。

以上のとおり君の鉄鋼材料の長時間クリープ特性の試験研究に対する功績は多大であつて表彰規程第11条により西山記念賞を受ける資格十分であると認める。

第14回自動制御連合講演会 講演募集要項

主催学協会 化学工学協会、計測自動制御学会、電気学会、日本機械学会、日本自動制御協会

参加学協会 日本鉄鋼協会、ほか

幹事学協会 計測自動制御学会（東京都港区芝罘平町20 計測会館内 Tel. 502-1917）

期 日 昭和46年11月21日（日）、22日（月）、23日（火）

会 場 国立教育会館（東京都千代田区霞が関3-2-3 電話（03）580-1251）

講演申込 ①講演希望者は所属の主催または参加学協会を通じて指定の申込用紙により発表1件につき講演申込金500円を添えて申込むこと。

②講演内容は発表されたものでもさしつかえないが、なるべく最近の研究で学術的なものが望ましい。

③講演時間は約20分（討論を含む）の予定。

④講演の採否などは運営委員会に一任願います。

⑤申込用紙が不足の場合は所属学協会へ申し出ること。

部門 第1部 制御理論とシステム理論
第2部 制御要素と機器
第3部 応用
第4部 計測

講演申込締切期日 昭和46年8月31日（火）所属学協会必着

講演前刷 講演者は前刷原稿を必ず下記期日までに直接計測自動制御学会へ提出してください。

① 講演前刷原稿締切期日 昭和46年10月10日（日）必着

② 前刷原稿の用紙および書き方の詳細は計測自動制御学会から講演申込者に送付いたします。

③ 前刷原稿は規定の原稿用紙2枚（図、表、写真を含めて邦文にて2,800字以内）に明りように墨書してください。

④ 講演前刷はオフセット印刷になりますから写真も入れられます。所定の用紙以外の用紙に書いた原稿は受け付けません。

⑤ 講演別刷は50部差し上げます。